

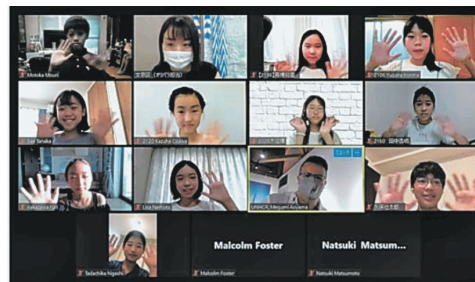
難民、障害 それでも前へ



© Getty Images/Christian Petersen

練習に励むパラ陸上のシャハラッド・ナサジプール選手

難民選手団の一員で円盤投げのシャハラッド・ナサジプール選手に8月23日、オンラインでインタビューしました。アスリートを目指したきっかけは2008年のパラリンピックです。夢を持つこと、自分の道を進むことが大事だと強調していました。(中3/大迫環)



シャハラッド選手にオンラインで取材したこども記者

パラ陸上円盤投げ シャハラッド・ナサジプール選手 インタビュー

日本にまた来たい

シャハラッド選手は円盤投げに出場しました。日本に来た印象を聞くと「大好きでぜひまた来たい」と話しました。

(小5/根本梨咲)

同じ難民に希望

英語でのインタビューは思っていた以上にドキドキしました。シャハラッド選手の「自分と同じ難民に希望をあたたかい」という言葉に感動しました。

(小4/東忠慶)

チャンス探して

アメリカに逃れた時に、どう

したらパラリンピックに出られるかを考え、いろいろな所に連絡を取ってチャンスを探したからシャハラッド選手は難民選手団に入れました。

(小4/中澤琉璃)

平和へ強い思い

2008年からパラ競技である投てきの練習を始め、15年にアメリカへ亡命した後、16年のリオデジャネイロ大会に参加しました。「平和」について「全ての人が手に入れられ、アクセスできる。そういうものでなければいけないし、そうであってほしい」と話していました。

(中2/久保壮太郎)

初出場一番幸せ

イランで脳性まひを持って生まれ、今はアメリカに住んでいます。初めてパラリンピックに出た時が一番うれしく、幸せだったそうです。難民であり、障害を持ちながらも、世界でかつやくしてとてもすごいと思いました。

(小5/本間柚葉)

決してあきらめない

「モットー」は「決してあきらめない」です。何を言われても、前に進みたいという前向きな心を見習いたいです。

(小5/小澤一葉)

夢を持って自分の道を進む

新しい人々に会えること

「2020大会の素晴らしさ」は「新しい人々に会えること」というシャハラッド選手が多くの新しい人々と出会い、友達になることを願います。I hope he can meet many people and make friends. (小4/KOUKI)

諦めず前を向き続けること

国を離れる時に勇気づけてくれたのは「諦めず前を向き続けること」 “Look forward and don't give up!” です。日本の人々が大好きなのでパラリンピック後も日本に来たいそうです。(小5/田中沙英)

スポーツは生きる力を与える

シャハラッド選手は難民選手団入りをとっても光栄だと思っています。「スポーツは目標を達成するためにとても役立った」と言っていました。スポーツは人に「生きる力」を与えるのだと、強く感じました。(小4/ちさと)

アスリートの夢舞台

難民選手団に選ばれた時、シャハラッド選手はうれしかったし幸せだったそうです。アスリートにとってオリンピック、パラリンピックは夢の舞台だと感じました。(小6/田中杏依)

戦争と平和 サトちゃんから学ぶ

ワークショップでアニメ観賞

文京区と国連UNHCR協会による小学生向けワークショップ「サトちゃんの大切なもの」で、難民について学びました。

増え続ける難民の子ども

「サトちゃんの大切なもの」は3本のアニメです。仲間と一緒に楽しそうにサトちゃんの住む街で戦争が起き、サトちゃんは米粒の涙を流します。その後、街に国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の方が来て安心して暮らせるようになります。世界の難民の数は日本に住む人の半分以上です。難民の子どもが増え続けているそうです。

(小6/田中杏依)

平和な世界になってほしい

サトちゃんのアニメを見て戦争のつらさを学びました。普段、おながすいたらいつでも食べ物を買え、のどがかわいたら水道の水が飲め、家族が兵隊にとられることもありません。けれどサトちゃんの周りは違います。サトちゃんのような子がいらない平和な世界になってほしいと思いました。

(小5/細貝波瑠)

難民を支援、数減らしたい

ユニセフ募金は知っていましたが、UNHCRがどのように難民の人たちを支援しているかは初めて知りました。僕も難民の人たちを支援して、数を減らしたいと思いました。(小4/稲葉有展)

大切な人や場所うばわれ

わたしは「なん民」という言葉を知って、こわくなりました。それは、その人にとって大切な人や場所や思い出がうばわれること、そのものだと思うからです。アニメをみて、身近な人がどんないなくなったらと想像し、世界のどこかで本当にあるんだと思ってなみだが出ました。少しでも「なん民」の人たちを助けたいと心から思いました。(小4/羽那)